

いんぶく

林福イーハートーフ通信 (創刊号)

発行 令和元年6月28日
盛岡広域振興局林務部

はじめに

皆さんは、「林業」ってどんな仕事かご存知でしょうか。
何となくわかるけど、詳しくは知らないという方がほとんどではないでしょうか。

楽しく林業を知っていただける映画として、「三浦しをん」の小説を映画化した「WOOD JOB (ウッジョブ) ～神去なあなあ日常～」がありますので、興味のある方は、是非、ご覧いただければ幸いです。

さて、現在、日本では、ご存じのとおり、人口減少が社会的な問題となっており、多くの産業で人材不足が叫ばれています。

林業もご多分に漏れず、林業従事者は、高齢化とともに、その人数は、減少傾向にあります。平成29年度現在、岩手県内の林業従事者は、1,835人、そして、管内は、456人で、3年前と比較して、1割減となっています。



したがり
下刈作業



植林作業

一方で、管内の森林は、木材としての利用期を迎え、伐採量が増加し、それに伴い植林、^{したがり}下刈と言われる作業が増加しており、将来を見据えた人材の確保が不可欠な状況となっています。

そこで、林務部では、新たな担い手を様々な切り口で探す取組を行うこととし、その取組の一つとして、様々な実績がある「農福連携」の取組が林業でもできないだろうかと考え、昨年度から福祉関係の皆さんと情報交換を行ってきました。

その中で、「まずは、お互いを知ることから始めましょう。」ということになりました。

この「林福イーハートーフ通信」を通じて、

福祉関係の方には、林業とは、どういう仕事なのかを、

林業関係の方には、福祉側の状況や雇用・就活状況などを

知ってもらうことで、福祉関係者と林業関係者が、お互いに理解が深められ、雇用へとつながっていけばと考えています。

「林福イーハートーフ通信」は、小さな一歩ですが、少しでも前進できることを期待して、情報を発信していきたいと考えていますので、関係者の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

創刊号の今回は、「林業」の概要について、紹介します。

林業ってどんな仕事

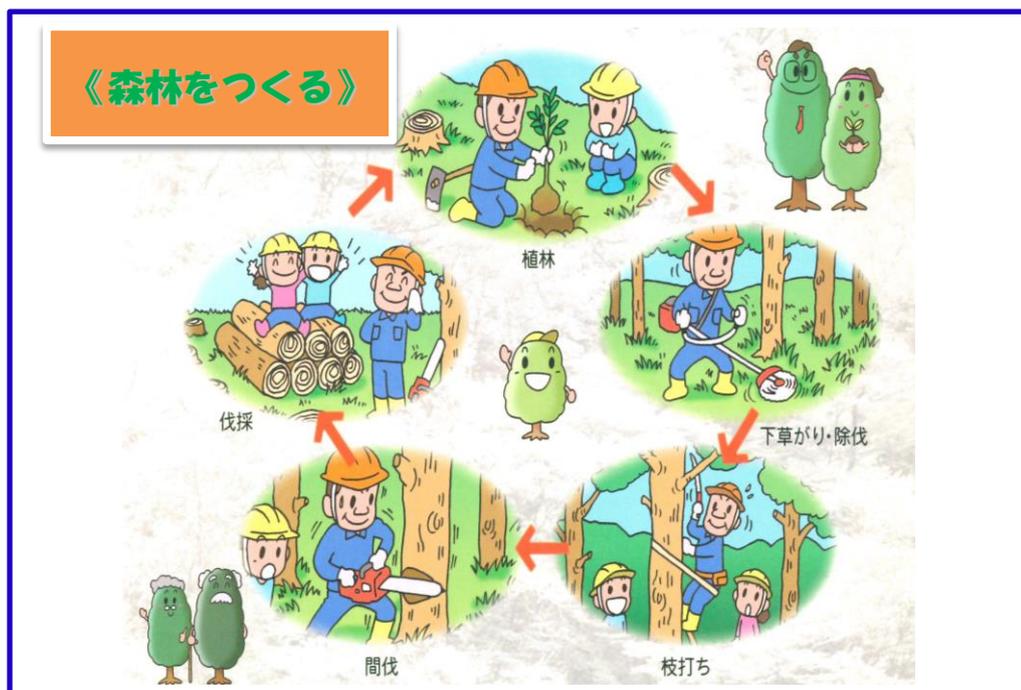
農業では、春に種を蒔いたり苗を植えたり、肥料を与えたり、雑草を除いたり、世話をしながら、秋には収穫を行います。

林業も同じように、苗木を植栽し、世話をしながら、育てますが、収穫までには、50年程度の年月が必要です。

林業では、木の成長に合わせて、様々な作業を行い、将来の生産に向けて、優良な木を育てていきます。

作業の例は、次のとおりです。

- ① 1年目 植林
(植林の前には伐採の際に出た枝等を処理し、苗木を植えやすいようにする「^{じごしら}地拵え」を行う)
- ② 1年目～5年目 下草刈り（下刈り）
(植林した苗木が周りの草等に負けないように草等を刈り払う作業)
- ③ 10年目～15年目 枝打ち
(節がない木にするため枝を落とす作業。同じ時期に灌木等を除去する「つる切り」や「除伐」を行う)
- ④ 15年目～35年目 間伐
(植林した木の密度を下げるための作業。期間内に2回～3回実施)
- ⑤ 50年目 主伐
(木材を利用するための伐採)



次号は、林業の作業のより詳しい内容と、福祉の取組について、お伝えします。

問合せ先：盛岡広域振興局林務部
電話：019-629-6613